

専門職大学院 経営学研究科技術経営専攻の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、専門職大学院である経営学研究科技術経営専攻の理念を理解し、本専攻における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に積極的かつ意欲的に取り組める者
- 経営学研究科技術経営専攻の人材育成に関する目的、修了認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するにふさわしい、グローバルな視点、高い職業的倫理観、技術経営分野における学識を有するとともに、社会ニーズを理解し、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 専攻の教育研究分野が、複合領域的、先端的かつ実践的であることから、実践経験を踏まえ、複数の専門領域を有し、社会ニーズを模索しながら常に最先端の知識を取り入れ、能力を研さんし、学際的にも新分野を切り開き、新たな仮説や理論を提示することができる者
- 多様な実践経験と、多様なバックグラウンドを持つ社会人学生を教授することから、双方向なコミュニケーションにおいて多様性に応じたフレキシブルな対応ができ、巧みにファシリテーションを行える能力を有する者（講義に必要な資質・能力）
- 幅広い社会人学生に対して、論文の作法や論理構成だけでなく、学生の独創性を活かしつつ指導する必要があることから、柔軟かつ適切に演習を指導できる人格および識見を有する者（演習指導に必要な資質・能力）
- 専攻が単なる標準化された知識の取得ではなく、生きる力や考える能力を身に着けることを目的としていることから、社会人学生の多様な目的や人生設計を考慮しつつ、人生やキャリアに関して人間としてのアドバイスができる人間力溢れる者
- 専門分野に関し、実践的な研究能力を有するとともに、社会の変化に対応すべく、多様化する社会のニーズを分析予測し、研究成果の発信を通じてイノベーションの創出や産業の発展等に貢献できる者
- 学校法人東京理科大学行動憲章を十分に理解し、互いの多様性を認め合い、他の教職員との協働により専攻における教育・研究・社会貢献・国際化・運営等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、主体的に大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 経営学研究科技術経営専攻の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 経営学研究科技術経営専攻における質の高い教育研究活動を継続的に実施するため、職位・年齢・性別等の多様性と未来の技術経営を見通した学問分野のバランスを踏まえた多様な人材を配置する。
- 経営学研究科技術経営専攻の教育・研究・入試広報・管理運営等の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担し、各教員がその責任を果たすことのできる組織とする。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、専攻の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規定等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、独自の基準を基に、公正・公平に行う。